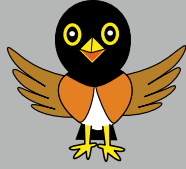


こっこめ通信 12 2018

「くつつき、ひつつき、離れない」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

八丈島では外来種のヤンバルトサカヤスデが時に大発生します。今年は大発生の年。地域によっては道路沿いの壁や電柱の根本にビッシリついている事も。このヤスデは湿気を好み、乾燥を嫌います。今年9月以降の降雨の日が多く、11月は22日まで連続の降雨！適度に湿度があることが大量発生の要因のひとつになっているのかもしれませんが。大量に発生し、嫌な臭気も出るので、生きもの好きの私でもちょっとうんざりです。

ところで11月に入りザトウクジラとクロアシアホウドリもシーズンイン！無事に島に帰ってきています。さて今回は、「オオバンとバン」「ひつつき虫を調べよう」のお話です。

オオバンとバン

オオバンとバンはツル目クイナ科に属し、成鳥になると額板が大きく発達するのが特徴です。八丈島では、オオバンは秋に渡ってきてそのまま越冬する個体もあります。和泉親水公園や漁港内などで見られますが、数はそれほど多く無く、多い年でも10羽程です。春に渡ってくることはあまりありません。バンは春の渡りの時に稀に成鳥が立ち寄り、秋の渡りでは成鳥が見られることは滅多にありません。幼鳥が数羽渡ってくる程度です。



写真下はオオバンとバンとの大きさ比較。“オオ”が付くオオバンの方が少し体が大きいのが分かります。今年渡ってきているバンの数が多いので、このような光景を目にすることができました。



オオバン

【*Fulica atra*】

体は黒く背中側の上面は少し青みがかり、くちばしと額板は白く、虹彩は赤くなっています。

幼鳥は顔から胸が白っぽく、額板は小さく、くちばしは少しピンク色を帯びています。



バン

【*Gallinula chloropus*】

体は光沢のある黒色で背中側は茶色がかっていて、下尾筒と脇に白斑があります。くちばしは先端が黄色く、額板にかけて赤くなります。幼鳥のくちばしは茶色、体には白い部分が多いです。



オオバンの脚は弁足と呼ばれ、長い指に水かきがついています。この脚ヒレを使って潜ることができます。バンの指にはヒレはありません。オオバンは水の上、バンは水際での行動が多いですね。






「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。




ひっつき虫を調べよう




11月24日、和泉親水公園周辺で八文学講座「ひっつき虫を調べよう」を開催しました。いろいろな方法でひっつき9種類の植物の種子たち（下画像）が見つかりました。粘液で付着するのは、エダウチチヂミザサ①とヌマダイコン②、メナモミ③。逆向きの棘があるのは、コセンダングサ④とアメリカセンダングサ⑤。鉤型の毛があるのは、ヌスビトハギ⑥とウマノミツバ⑦、キンミズヒキ⑧。繊維を包み込んで付着するヒカゲノイノコズチ⑨。






今回はこのひっつき虫の中で、八丈島で見られるコセンダングサ類にスポットを当てて見比べてみました。この仲間の分類は混乱しているようですが、『神奈川県植物誌 2018』を参考にしています。

		<p>コセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> var. <i>pilosa</i></p> <p>舌状花が無く、筒状花はすべて黄色。瘦果の棘は3～4本。採集した瘦果は他の種よりも長いものが多かった。</p>	
--	--	--	--

		<p>アイノコセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> var. <i>intermedia</i></p> <p>コセンダングサとコシロノセンダングサの雑種と言われている。外側のいくつかの筒状花が白く大きくなる。</p>	
---	---	--	---

		<p>コシロノセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> var. <i>minor</i></p> <p>白い舌状花がある。瘦果の棘は3～4本。瘦果の棘が2本で腺点の無いものがアワユキセンダングサと言われる。</p>	
---	---	---	---

		<p>オオバナノセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> var. <i>radiata</i></p> <p>コシロノセンダングサに比べ、白い舌状花の長さがとても長くなる。葉も他のコセンダングサに比べて大きくて厚い。</p>	
---	---	--	---

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は11月11日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成30年第11回） 調査者：沖山三、青木、沖野、鶴沢、沖山美、VC菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			29	ヒナギキョウ	花	シダ植物		
1	アオツヅラフジ	熟した実	30	フウトウカズラ	実	1	イシカグマ	
2	アオノクマタケラン	実	31	ヘクソカズラ	実	2	ウチワゴケ	
3	アシタバ	実	32	ベニバナボロギク	花	3	オオタニワタリ	
4	アシボソ	実	33	メリケンカルカヤ	実	4	オニヤブソテツ	
5	アツバスマシ	実	34	ヤクシソウ	花	5	カニクサ	
6	イガガヤツリ	実	35	ヤブマオ	実	6	コハシゴシダ	著しく減少
7	イヌタデ	実				7	タチクラマゴケ	
8	イヌホオズキ	花と実				8	タチシノブ	
9	イワニガナ	花	木本			9	タマシダ	
10	ウスベニニガナ	花と実	1	アオキ	実	10	ナチシケシダ	
11	ウリクサ	花と実	2	イヌビワ	実	11	ナンカイイタチシダ	
12	エダウチチヂミザサ	実	3	オオバヤシャブシ	実	12	ノキシノブ	
13	オニタビラコ	花と実	4	オオムラサキシキブ	実	13	ハチジョウカナワラビ	
14	カタバミ	花と実	5	シチトウタラノキ	実が残る	14	ハチジョウシダ	
15	カラムシ	実	6	シマクサギ	実	15	ヒトツバ	
16	キングジカ	実	7	スダジイ	実	16	ホシダ	
17	コニシキソウ	実	8	タイミンタチバナ	若い実	17	マツザカシダ	孢子葉
18	コミカンソウ	実	9	テイカカズラ	実	18	マツバラソ	
19	シチトウスミレ	実	10	トベラ	実	19	マメヅタ	
20	セイタカアワダチソウ	実	11	ハゼノキ	実が残る	20	ヤマイタチシダ	
21	チヂミザサ	実	12	ヒサカキ	若い実	今回はシダ植物20種を含む74種の植物を観察しました。秋も深まり、落葉樹の葉はまだ枝に残っていますが、常緑樹の多くはそろそろ冬芽の準備をしている様子が窺えました。		
22	チャガヤツリ	実	13	ヒメユズリハ	熟した実			
23	ツユクサ	花	14	ホルトノキ	実			
24	ツルソバ	花と実	15	ミツバアケビ	実が残る			
25	ツブキ	咲き始め	16	モチノキ	熟した実			
26	ノコンギク	花	17	モッコク	若い実			
27	ハチジョウアザミ	花と実	18	ヤツデ	蕾			
28	ヒカゲイノコヅチ	実	19	ヤブニッケイ	実が少ない			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、最強のひつつき虫「イガオナモミ」にスポットを当ててみたいと思います。



イガオナモミ *Xanthium orientale subsp. italicum*

キク科オナモミ属。世界の温帯に広く帰化しています。

高さ 40~120cm の一年草。八丈島ではこの仲間はイガオナモミだけが記録されています。鉤型の毛のあるタイプのひつつき虫。小さい頃に投げて服に付ける遊びをやった方も多いのでは？

2018 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります	28	29	30	1 ガイドウォーク 05:16 12:37 19:10
2 ガイドウォーク 00:42 13:28 20:10 06:37	3	4	5	6	●大雪 7	8 ガイドウォーク 06:13 16:54
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 06:48 17:25 12:03	10	11	12	13	14	15 ガイドウォーク 07:22 17:55 00:18 12:36
16 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」 04:17 11:45 18:30 23:44	17	18	19	20	21	22 冬至 ガイドウォーク 八丈学講座 「東里散歩」 05:22 16:10 10:41 23:02
23 ガイドウォーク 冬の特別行事 「小さなツリーを作ろう」 06:07 16:49 11:23 23:44	24	25	26	27	28	29 ガイドウォーク 「体験八丈太鼓」 03:28 10:30 22:16
30 ガイドウォーク 「体験八丈太鼓」 04:23 11:20 18:18	31 ガイドウォーク 00:07 12:14 05:31 19:34	1	2	3	4	5

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
12/9 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

特別行事 「リースを作ろう」

毎年恒例、島の自然素材を使っていろいろなリースを作りましょう！
12/16 (13:30～ 約1時間半) 小学生以上 (1～3年生は保護者と一しょにひとつ)
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

八丈学講座 「東里散歩」

毎月行っている八丈学講座。今月は、八丈プラザ公園周辺の東里地区の自然散策です。
12/22 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
八丈プラザ公園駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：15名

特別行事 「小さなツリーを作ろう」

マツボックリやビーズを使って、小さなクリスマスツリーを作ります。
12/23 (13:30～ 14:45の間に受付をしてください) 15分ほどで完成する行事です
ビジターセンターにて 参加費：無料 定員：80名 だれでも

年末年始特別行事 「体験八丈太鼓」

ビジターセンターの年末年始といえはこれ！ 太鼓たたけばストレスも吹き飛びますよ！
12/29～1/3 (13:30～ 16:45) いつでも・だれでも・無料
て～こ、はたきにおじゃれ！

ビデオプログラム

- 10:00～ 八丈・海・生きものたち
 - 11:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 14:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 15:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 16:00～ 八丈・海・生きものたち
- 上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2018.12.1 第211号

開館時間 9:00～16:45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

この夏、外来種として入り込んだセグロアシナガバチが大発生しました。そして寒くなり、来春の女王蜂が集団で越冬の準備をし始めています。すでに植物公園のトイレで9ヶ所の集団を見つけ、305匹を駆除しています。300個の巣が公園に作られていたら…。(高)